



# せいひ会だより

2017年(平成29年)  
12月1日発行  
<第212号>  
社会福祉法人せいひ会  
<http://www.seihikai.jp/>



11/18、特養寿限無と小規模多機能じゅげむ利用者の方で「琴海ふるさとまつり」を見学してきました。心配していた雨も上がり、よいお祭り日和となった当日。広い展示会場に飾られた自分たちの作品が、来場されていたいろいろな方達の目に触れているの間近に見て、皆さん「苦勞が報われた」と一安心。また、会場には、長崎市の田上市長も来場されていて、利用者の皆さんと一緒に写真を撮って頂きました。来年の作品も楽しみにしています！

## 11月の行事

- 16日 運営推進会議(寿限無)
- 18日・19日 琴海ふるさと祭り作品展示(寿限無)
- 19日 芋ほり(GH)
- 21日 消防総合訓練(シニアヴィレッジ)
- 22日 通報訓練(寿限無)
- 28日 消火訓練(シニアヴィレッジ)

## 12月の行事予定

- 15日 運営推進会議(GH)
- 15日 クリスマス忘年会(GH)
- 22日 冬至ゆず湯(通所介護)
- 23日・25日 クリスマス会  
(風和・通所介護・寿限無・じゅげむ)



## 11月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます



富永 キノ様



山口 和子様



巖本 テイ様



内野 繁様



島田 芳枝様



千草 政治様



梅園 弘様



栗山 貴美子様



冨田 ユウ様



富永 タミ様



野口 力様



平野 愛子様



木村 俊勝様



松江 恵美子様



松尾 アイ子様

パースディンビュー



中尾 レイ様



反田 元明様



伊東 イツ様



溝口 次夫様

## 春崎 美利様 今回は通所介護：春崎美利様にお話を伺いました

西彼杵郡崎戸町で生まれ、西彼町大串郷網代で育った。4人兄弟であったが、1人は赤子の頃養子にもられ、3人兄弟で育った。昭和17年(3歳)満州に渡り、昭和28年(14歳)に日本に戻ってきた。その後は、大串郷網代で、親と一緒に定置網で漁をしていた。

昭和43年に普通自動車免許を取り、佐賀の有田焼の会社に就職したとのこと。4~5日は血作りをしていたが向かなかったようで、販売の方を任せられ、東北から山陰地方のお得意さんや、料亭・旅館・温泉施設に陶器の見本を見せて売っていた。その当時の1ヶ月の給料は、2万6千円~7千円、1日の日当が200円だったそうだ。

昭和53年に第2種運転免許を取り、昭和54年にタクシーの運転手となった。広島県、島根県までお客を乗せて走ったこともあったそうで、7万

円位で広島に行けるのに、20万円程もらったとのこと(会社にも報告した)で、その当時の給料の2ヶ月分ぐらいだったそうだ。その他、遠いところでは鳥取の境港まで運転したこともあると話されていた。

結婚は昭和40年ごろで、2人の子供に恵まれた。長男は諫早在住で、月に1~2回は来てくれ、長女(看護師)は滋賀県の琵琶湖近くに在住、2~3年に1回帰ってくるとのこと。

3年ぐらい前、腰の手術(脊柱管狭窄症)を行い、車いす生活となった。色んな所へ行ったが、現在暮らしている丘の家での生活が、一番居心地が良いと話される。「ご飯がおいしい」「静かに眠れる」「でも、寝てばかりはよくないね」と、笑いながら話されていた。

これからも元気にお過ごしください。

# Vitality Space

バイタリティー・スペース

の芸術  
秋



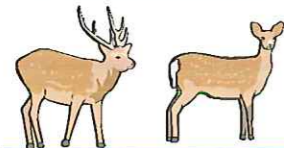
寿限無：渋谷アケミ



じゅげむ：谷口ヒロ  
『紅葉と姫君』

七五三  
お祝い

通所：浦崎福江



白衣の人に手をひかれ  
さみしかった  
あの日の思い出

(風和) 嶋田ト工



じゅげむ：山田チヨ子  
『食器洗のスポンジ』

ふゆ  
わが家

風和：池田サカエ

星月夜  
相葉  
秋浦克敏

通所：秋浦克敏

霜月

通所：竹下晶子

## 新人職員紹介



元亀の里  
大川内 美樹さん

おて環利職 8  
願ま境用し月  
いを者ま1  
しり提のし日  
ま供方たり  
ますが大元  
すでが川元  
のき過川元  
でるご内亀  
よろし美里  
ろうや樹里  
し努すでに  
くめいす入

## 消火訓練



11/28、シニアヴィレッジで消火訓練を行いました。新人職員を中心に参加してもらい、消防設備業者の立会のもと、指導を受けることができました。参加した職員の中には消火器を初めて使った職員もいて、「よい経験になった」との声が聞かれていました。

## 秋の食事会



11/28、風和の里のお昼ご飯は、ご覧のようなお弁当！おこわや天ぷら等の横には、本物のモミジの葉も添えられ、秋にふさわしいお弁当でした。ふたを開けた途端に「うわー！」と、皆さん大喜び！「モミジ以外はきれいに食べたよ～」と大好評でした。

## 芋ほり



グループホームの畑で作っていたサツマイモが大きく育ちました！掘ったおいもはふかして、みんなで美味しくいただきました。

## 青春写真館

せいひ会利用者様のあつころを写真で振り返ります。今月は、通所介護・秋浦克敏様です。



【一問一答】  
A Q  
・奥様とのなれそめは？  
・親戚だった。東京で偶然出会った。  
・若いころの目標は？  
・姉さんを目標にして、たが、頭が良すぎて、とてもかなわなかった。

ずいずい  
随・随

## ずっころばし

せいひ会の職員が、思うがままをリレー方式で綴るコーナー。今月は、元亀の里・前田さんです。

「風変わりな老人」と呼ばれる男性が、老人施設で亡くなり、部屋の整理をしていた時に見つけた手紙。手紙にはこう書かれていたそうです。

『(前略)私を見ると、あなたは何を考えていますか？風変わりな愚かな老人。行動も読めず遠い目で？食べ物をこぼし何も答えもしない。大声で「自分でしたら？」というあなた。でも私は気づいていない様子。靴下や靴がいつもなくなる？いつも抵抗し意に沿わない。お風呂も食事もある長い一日だっていうのに？何を考えます？何が見えますか？目を開けて見て下さい。あなたは見ていないでしょう。私はここにじっと座って誰なのかあなたに話します。

命令を聞きながら、食べさせられながら。(中略)今の私はただの老人です。自然とは残酷なものです。老いていくことは自然な事。意地悪なことに老いたものを愚かに見せる。体は碎け、優雅さと活力を失い。でも老いた体の中には青年の心が宿ります。(中略)永遠が無いという厳しい現実を受け入れなければなりません。だから、あなたたちは目を見開き見て下さい。風変わりな老人ではない。見て下さい私を。』

人の気持ちなんて誰にでもわかるわけがない。たとえ家族でも。だからこそ寄り添う気持ちと話せるきっかけを作ることが大切だと私は思う。